

ルネサス、2017 年度第 3 四半期の業績を発表

～自動車・産業を中心に成長、インターシル統合寄与もあり、第 3 四半期の売上は対前年同一期間比大幅増収、売上総利益率・営業利益率も共に改善～

2017 年 11 月 2 日

ルネサス エレクトロニクス株式会社

- 2017 年度第 3 四半期:Non-GAAP ベース⁽¹⁾の半導体売上高は 1,923 億円となり、前年同一期間比 29.6%増収、Non-GAAP ベースの売上総利益率は 47.7%となり、前年同一期間比 5.2 ポイント増加、Non-GAAP ベースの営業利益(率)は 359 億円(18.4%)となり、前年同一期間比で 194 億円(7.5 ポイント)増益。
- 2017 年度第 4 四半期の見通し:Non-GAAP ベースの半導体売上高は前年同一期間比 22.4%増収の 1,976 億円を見込み、Non-GAAP ベースの売上総利益率は前年同一期間比 0.7 ポイント増加の 46.3%、Non-GAAP ベースの営業利益率は前年同一期間比 0.8 ポイント減少の 12.9%を見込む。
- 2017 年度通期の見通し:Non-GAAP ベースの半導体売上高は前年同一期間比 22.0%増収の 7,567 億円を見込み、Non-GAAP ベースの売上総利益率は前年同一期間比 2.7 ポイント増加の 46.3%、Non-GAAP ベースの営業利益率は前年同一期間比 3.3 ポイント増加の 15.5%を見込む。

ルネサス エレクトロニクス株式会社(以下 ルネサス)は本日、2017 年第 3 四半期(2017 年 7 月 1 日～9 月 30 日)の業績を発表しました。ルネサスの代表取締役社長兼 CEO の呉 文精は、次のように述べています。

「ルネサスはこれまで、売上増と費用効率化によって、継続的に売上総利益率および営業利益率を改善させてきました。2017 年第 3 四半期の Non-GAAP ベースの半導体売上は、インターシル社の統合に加え自動車や産業分野を中心とした売上増、前年同一期間に発生した熊本地震の影響が解消されたことにより、前年同一期間比で 29.6%増加しました。続く第 4 四半期においても、前年同一期間比での半導体売上、売上総利益率の継続的な成長を見込んでいます。」

四半期業績概要(億円)

Non-GAAP ベース	2017年 第3四半期 (2017年7-9月)	2017年 第2四半期 (2017年4-6月)	2016年 第2四半期 (2016年7-9月)	前 四半期比	前年 同一期間比
売上高	1,955	1,981	1,526	-1.3%	+28.1%
半導体売上	1,923	1,943	1,483	-1.1%	+29.6%
売上総利益率	47.7%	45.7%	42.5%	+2.1pts	+5.2pts
営業利益	359	290	166	+69	+194
営業利益率	18.4%	14.6%	10.8%	+3.7pts	+7.5pts
EBITDA ⁽²⁾	550	475	315	+75	+236

GAAP (日本会計基準)	2017年 第3四半期 (2017年7-9月)	2017年 第2四半期 (2017年4-6月)	2016年 第2四半期 (2016年7-9月)	前 四半期比	前年 同一期間比
売上高	1,955	1,973	1,526	-0.9%	+28.1%
半導体売上	1,923	1,935	1,483	-0.6%	+29.6%
売上総利益率	47.5%	41.5%	41.2%	+6.1pts	+6.3pts
営業利益	249	93	146	+156	+103
営業利益率	12.7%	4.7%	9.5%	+8.0pts	+3.2pts
EBITDA	541	380	295	+161	+246

(1) Non-GAAP ベース: 非経常項目その他特定の調整項目を除いた業績。2016 年 12 月期までは RSP(ルネサスエスピードライブ)にかかる売上および損益の影響、LTE モデム事業にかかる損益の影響、作り貯めの損益の影響を控除。2017 年 12 月期からはインターシル社の買収に伴い、のれんの償却額、買収した無形固定資産の償却額、インターシル社の買収関連費用、株式報酬費用、株式売出し関連費用およびインターシル社買収に伴う PPA(取得原価の配分)影響を除外。(参考:2017 年度 第 3 四半期の作り貯めによる損益影響は営業利益に対し-3 億円) Non-GAAP ベースと日本会計基準(GAAP)間の調整項目は 5 ページ参照。

(2) EBITDA: 営業利益+減価償却費+長期前払費用償却額。日本会計基準ベースでは、のれん償却額も含む。

プロフォーマベース⁽³⁾の分野別四半期半導体売上

2017 年 2 月に買収完了したインターシル社を統合し、三事業本部体制に再編したことに伴い、ルネサスは、2017 年度第 2 四半期から半導体売上の開示情報について、当社グループの主要な事業内容である「自動車」、「産業」、「ブロードベースド」およびこれらに属さない「その他半導体」に変更しました。

分野別半導体売上 (億円)	2017年 第3四半期 (2017年7-9月)	2017年 第2四半期 (2017年4-6月)	2016年 第2四半期 (2016年7-9月)	前 四半期比	前年 同一期間比
自動車 ⁽⁴⁾	1,006	1,029	860	-2.2%	+16.9%
産業 ⁽⁵⁾	535	540	451	-1.0%	+18.5%
ブロードベースド ⁽⁶⁾	374	363	309	+3.0%	+21.1%
その他半導体	8	11	5	-25.5%	+56.8%
合計	1,923	1,943	1,625	-1.1%	+18.3%

(3) プロフォーマベース: 2017 年 2 月 24 日に買収完了したインターシル社の売上について、買収完了以前も当社売上に加算した試算ベース。

(4) 自動車: 「車載制御」および「車載情報」向けにマイクロコントローラ、SoC(system-on-a-chip)、アナログ半導体、パワー半導体を中心に提供。

(5) 産業: 「スマートファクトリー」、「スマートホーム」および「スマートインフラ」向けにマイクロコントローラおよび SoC を中心に提供。

(6) ブロードベースド: 幅広い用途向けに汎用マイクロコントローラおよび汎用アナログ半導体を中心に提供。

2017 年度 第 3 四半期の業績概要 (Non-GAAP ベース)

2017 年度第 3 四半期の連結売上高は当社予想とほぼ同額の 1,955 億円、前四半期比 1.3%減収となりました。前年同一期間比は 28.1%増収となりました。半導体売上高は、ほぼ予想どおりの 1,923 億円とな

り、前四半期比 1.1%減収となりました。前年同一期間比では、当社売上からインターシル社の売上を除外したルネサス単体ベースでの堅調な成長とインターシル社の統合および前年同一期間に発生した熊本地震の影響が解消されたことなどにより、半導体売上高は29.6%増収しました。プロフォーマベースの自動車向け売上は、車載制御および車載情報ともに強い需要が牽引し、前年同一期間比で 16.9%増収しました。産業向けおよびブロードベース向け売上は、FA(ファクトリーオートメーション)や家電、アナログ半導体での強い需要を主要因として、前年同一期間比でそれぞれ 18.5%および 21.1%増収しました。

第 3 四半期の Non-GAAP ベースの売上総利益率は 47.7%となり、主に生産増に伴い当社予想よりも 2.3 ポイント上回りました。前四半期対比では 2.1 ポイント増となり、前年同一期間比では大幅な売上増・生産増とインターシル社の統合により 5.2 ポイント増となりました。

第 3 四半期の Non-GAAP ベースの研究開発費(R&D)は、前四半期の 335 億円および前年同一期間の 255 億円に対し、312 億円となりました。売上高 R&D 比率は 16.0%となりました。

第 3 四半期の Non-GAAP ベースの販売費および一般管理費(SG&A)は、前四半期の 280 億円および前年同一期間の 229 億円に対し、262 億円となりました。売上高 SG&A 比率は 13.4%となりました。

季節的な増加影響を除くと、OPEX(R&D や SG&A などの事業運営に必要な費用)は、長期財務目標の範囲内でコントロールされています。

第 3 四半期の Non-GAAP ベースの営業利益は 359 億円、営業利益率としては 18.4%になり、第 2 四半期の Non-GAAP ベースの営業利益 290 億円および営業利益率 14.6%から 69 億円(3.7 ポイント)改善しました。前年同一期間比では、売上増と OPEX の規律ある運営の継続などにより、194 億円(7.5 ポイント)改善しました。

第 3 四半期の Non-GAAP ベースの親会社株主に帰属する四半期純利益は、327 億円となりました。

第 3 四半期の営業活動によるキャッシュ・フローは、440 億円の収入となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは 262 億円の支出となり、その結果、フリー・キャッシュ・フローは 178 億円となりました。

第 3 四半期の有形固定資産(生産設備)および無形固定資産の設備投資額は、100 億円となりました。これは、これら資産への投資決定ベースの金額であり、キャッシュ・フロー計算書に記載の現金支出とは一致しません。

自己資本比率は、2017 年 6 月 30 日時点の 44.2%に対し、2017 年 9 月 30 日時点では 46.7%となりました。D/E レシオ(グロス)は、2017 年 9 月 30 日時点で 0.49 倍となりました。

2017 年度 第4四半期/通期の見通し

2017 年度第 4 四半期は、前年同一期間比 22.4%増の 1,976 億円の半導体売上高を見込みます。Non-GAAP ベースの売上高総利益率は増収するものの償却費増により、前四半期比 1.5 ポイント減、前年同一

期間比 0.7 ポイント増の 46.3%、Non-GAAP ベースの営業利益率は期末費用集中もあり、前四半期比 5.5 ポイント減、前年同一期間比 0.8 ポイント減の 12.9%を見込みます。

為替前提は、1 米ドル 110 円、1 ユーロ 125 円としています。

第 4 四半期の有形固定資産(生産設備)および無形固定資産の設備投資額(期間中の投資決定ベースの金額)は、売上高比で 11.4%となる見込みです。

2017 年度通期は、前年比 22.0%増の 7,567 億円の半導体売上高を見込みます。Non-GAAP ベースの売上高総利益率は前年比 2.7 ポイント増の 46.3%、Non-GAAP ベースの営業利益率は前年比 3.3 ポイント増の 15.5%を見込みます。

通期の有形固定資産(生産設備)および無形固定資産の設備投資額(期間中の投資決定ベースの金額)は、売上高比で 11.4%となる見込みです。

為替前提は、1 米ドル 111 円、1 ユーロ 125 円としています。

以上

(ご参考)

四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書については、本日発表の「平成 29 年 12 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」をご参照ください。

(将来予測に関する注意)

本資料に記載されているルネサス エレクトロニクスグループの計画、戦略及び業績見通しは、現時点で入手可能な情報に基づきルネサス エレクトロニクスグループが判断しており、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。そのため、実際の業績等は、様々な要因により、これら見通し等とは大きく異なる結果となりうることをあらかじめご承知願います。実際の業績等に影響を与えうる重要な要因としては、(1)ルネサス エレクトロニクスグループの事業領域を取り巻く日本、北米、アジア、欧州等の経済情勢、(2)市場におけるルネサス エレクトロニクスのグループ製品、サービスに対する需要動向や競争激化による価格下落圧力、(3)激しい競争にさらされた市場においてルネサス エレクトロニクスグループが引き続き顧客に受け入れられる製品、サービスを供給し続けていくことができる能力、(4)為替レート(特に米ドルと円との為替レート)の変動等がありますが、これら以外にも様々な要因があります。また、世界経済の悪化、世界の金融情勢の悪化、国内外の株式市場の低迷等により、実際の業績等が当初の見通しと異なる結果となる可能性もあります。

<この発表に関する報道関係からの問い合わせ先>

ルネサス エレクトロニクス株式会社

コーポレートコミュニケーション部

電話 03-6773-3001(直通)

E-mail pr@renesas.com

ルネサス エレクトロニクス
Japan GAAP(日本会計基準)とNon-GAAP間の調整項目

(億円)	2017年 第4四半期予想 (2017年10-12月)	2017年 第3四半期実績 (2017年7-9月)	2016年 第3四半期実績 (2016年10-12月)	2016年 第2四半期実績 (2016年7-9月)
------	-----------------------------------	---------------------------------	-----------------------------------	---------------------------------

売上高(PPA 調整後)	2,009	1,955	1,664	1,526
PPA 影響	-	-0	-	-
Non-GAAP 売上高	2,009	1,955	1,664	1,526

GAAP 売上総利益	925	929	747	629
GAAP 売上総利益率 (%)	46.0%	47.5%	44.9%	41.2%
PPA 影響(COGS)	+5	+4	-	-
作り貯め	-	-	+12	+20
株式報酬費用 (COGS)	+0	+0	-	-
Non-GAAP 売上総利益	930	933	759	649
Non-GAAP 売上総利益率 (%)	46.3%	47.7%	45.6%	42.5%

GAAP 営業利益	147	249	216	146
作り貯め	-	-	+12	+20
PPA 影響(売上高・COGS)	+5	+4	-	-
PPA 影響(SG&A) 固定資産償却の増加等	+2	+1	-	-
株式報酬費用 (COGS)	+0	+0	-	-
のれんの償却額 (SG&A)	+52	+52	-	-
インターシル社買収関連費用 (SG&A)	+4	+4	-	-
インターシル社買収関連費用 (R&D)	-	-	-	-
買収した無形資産の償却額 (SG&A)	+43	+44	-	-
株式報酬費用 (R&D)	+2	+2	-	-
株式報酬費用(SG&A)	+5	+4	-	-
株式売出し関連費用 (SG&A)	-	+0	-	-
Non-GAAP 営業利益	259	359	228	166
Non-GAAP 営業利益率 (%)	12.9%	18.4%	13.7%	10.8%